

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 年 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ イシイジュウジニマナブカイ
団体名 石井十次に学ぶ会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者役職・氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ 地域課題解決 ☐ 地域課題掘り起し ☐ 地域計画づくり ☐ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ その他
事業名	石井十次に学ぶ会
事業実施区域 (小学校区)	大宮小学校区
①事業実施内容	※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。 - 役員会を開催(2回) 「十次通信」を発行(4回) - 学習会を実施 - 大師堂、診療所跡地の保全活動(清掃、草刈り) - 三世代交流会活動で「石井十次物語」(おにぎり劇団)のDVD鑑賞 - 紙芝居(石井十次物語)を団体研修や高齢者サロンで上演した(5回) - 冊子「石井十次の教えを今に」を増刷した - 放課後児童教室の支援員として協力している(令和元年度～3年度) - 団体向け研修についてHPやチラシで広報(2団体実施)

② 解決を目指した課題	大宮学区は岡山市東南端に位置し、自然豊かな環境の中にある。しかし、少子高齢化が急速に進み人口の減少が止まらない。又、現代の「他人への無関心が生む希薄な人間・近隣関係」により、コミュニティづくりが不十分になり、地域行事の遂行にも支障をきたすようになってきている。
③ 目的・目標の達成状況	⑦ 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。 ・紙芝居の上演や冊子「石井十次の教えを今に」の有効な活用により、十次の精神を多くの人に周知することができた。 ・小学生と一緒に保全活動を実施し、十次の精神を次世代に伝えることができた。 ・「十次通信」を年4回発行し、会員に配布し、町内に回覧することにより、本会の活動への関心を深め、ゆかりの地にふさわしいコミュニティづくりに寄与している。また、通信は東区の主要な施設にも配布している。

④企画等の工夫と情報公開	※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。 ・「十次通信」を年4回発行し、町内回覧するとともに、会員並びに東区の主要な施設に配布した。 ・活動をホームページで紹介している。 ・石井十次の偉業や「石井十次に学ぶ会」の活動を分かりやすく紹介した冊子を団体研修や学習会等で活用している。
⑤次年度計画	※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。 ・活動組織（3部会）をさらに定着・充実する。 ・広める活動から十次の教えを活かす活動に発展させたい。 ・講演会やゆかりの地の訪問等に地域外の人にもさらに多く参加してもらえるよう努める。 ・宮崎県の石井記念友愛社との交流活動を継続したい。

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

「十次通信」を年4回程度発行し、ホームページ等で活動を発信してその結果、会員も増加し、他地域の方の加入も増え回の活動は地域内外にも認知されてきている。
大師堂、診療所跡地の保全活動などを通して、広範囲の方に孤児院発祥の地として認知されたと思う。

○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）

石井十次の教えを広めるため、地域外の人にも参加していただくよう、活動を発展させてほしい

関連している地域（宮崎県等）が遠くにある。今後オンライン会議等の設備を検討してはどうか

コロナ対策をしっかり行って欲しい。

事業実施メンバーに女性や若者の参画を推進して欲しい。

○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等
（右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。）

- ・冊子「石井十次の教えを今に」を有効に活用し、より多くの人に周知することができた。
- ・コロナ対策をして、団体研修や学習会を実施した。
- ・小学生と一緒に保全活動を実施し、十次の精神を次世代に伝えた。
- ・新型コロナウイルスのため地域活動やゆかりの地の訪問等ができなかった。

助言等の内容について、事業へ反映できましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
6月 1日	十次通信第5号発行
6月24日	第1回役員会
7月	「石井十次の教えを今に」の冊子第2版発行(500部)
8月 9日	品子と子どもたちの墓所の清掃(参加者4名)
9月24日	第2回役員会
9月28日	保全活動(大宮小学校児童達と)(参加者44名)
10月 1日	十次通信第6号発行
10月 4日	津山市北部地区民生委員協議会の研修視察(15名)
10月10日	三世代交流会参加
10月27日	津山市城下地区民生委員協議会の研修視察(14名)
11月	紙芝居を15部増刷
11月15日	学習会(参加者17名)
12月 8日	十次通信7号発行
10月～12月	紙芝居の上演5回(団体研修、高齢者サロン等)
令和3年2月	石井十次ゆかりの地に来訪者専用の駐車場看板を設置
3月 1日	十次通信8号発行

⑩ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予算額	決算額	内 容
岡山市補助金	385,000	478,500	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	50,000	40,000	町内会費
参加者負担金	70,000	127,000	個人、団体会費
協賛金	50,000		
寄附金、他収入	215,000	327,889	冊子へのカンパ、研修会謝金等
計	770,000	973,389	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	162,076	封筒、インクジェット、花代、コロナ対策品
②食糧費	20,000	44,878	お茶代 弁当
③印刷製本費	300,000	476,656	冊子増刊、正誤シール、紙芝居
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	15,000	24,525	十次通信送料
⑦広告料	100,000	15,000	HP管理料
⑧手数料		1,556	振込料
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費	10,000	134,217	紙芝居用木枠、駐車場看板製作費
⑪委託料		16,200	十次冊子データ修正
⑫工事請負費			
⑬報償費	45,000	81,504	謝礼、大宮小プレゼント、大師堂花代
⑭保険料			
⑮旅費	160,000		
⑯ その他	20,000	16,777	
計	770,000	973,389	